

3 九電グループ環境会計

九州電力では、2000年度から環境会計を導入し、環境アクションレポートで公表していますが、2003年度からは九電グループにおいても環境会計に取り組むこととしています。

九州電力の環境活動コスト算出基準を基に、九電グループ環境会計ガイドラインを作成し、グループ全体の環境活動コストと効果を算出していきます。

今回は、試算として、2002年度の環境保全コストのうち、各社で算出可能な分を集約しております。

今後、算出方法の精度向上や、効果面の算出も含めてグループ環境会計として検討を進めていきます。

◇集計対象範囲

グループ会社27社

4 環境負荷実績の把握

グループ全体で、省エネルギーやリサイクル等の環境負荷実績の把握にも取り組んでいます。

2002年度にデータ把握方法を確立し、取り組み可能な項目から各社で自主目標を設定して、環境負荷削減に努めています。

また、法律等で規制がかかる物質については、従来どおり法規制に基づく適正な運用・管理に努めるとともに、環境負荷削減策についても検討しています。

◇集計対象範囲

グループ会社27社

■ 九電グループにおける環境活動コスト実績 (2002年度)

環境活動の分類		主な活動	環境コスト(百万円)	
			投資	費用
地球環境保全	温暖化防止	CO ₂ の排出が少ない電源の設置、火力熱効率向上、新エネ設備導入・支援、省エネ活動(低公害車導入含む)、SF ₆ 排出抑制	255.5	6.8
	オゾン層保護	フロン・ハロン回収対策	0.1	10.5
地域環境保全	大気汚染防止	排煙処理(脱硫、脱硝、ばいじん処理装置)、低硫黄燃料の使用など	0.9	80.0
	水質汚濁防止	排水処理、漏油対策など	2.9	91.8
	騒音・振動防止	設備騒音・振動対策	0	0.9
資源循環	産業廃棄物対策	産業廃棄物削減、リサイクル	0	36.3
		産業廃棄物の処理、PCB保管	22.0	91.3
	一般廃棄物対策	一般廃棄物削減、リサイクル	0	13.9
		一般廃棄物の処理	0	63.9
グリーン調達		グリーン調達で発生した追加的費用	0	0.2
環境活動の管理	環境活動組織	環境関連資格取得、環境教育・研修、環境関連人件費	0	47.5
	ISO、EMS構築・維持	ISO14001、EMS(ISO準拠システム)の取得・構築・維持	0	32.1
	環境負荷測定・監視	環境影響調査、環境負荷物質の監視・測定、PRTR対応	0	10.6
環境関連研究	環境保全関連	温暖化防止、大気・水質環境改善、廃棄物有効利用など	0	40.5
社会活動	構内緑化	工場等保有地の緑化、維持・管理	0	70.5
	景観・都市空間確保	景観配慮建屋等周辺環境調和対策	0	0
	環境月間	環境月間、植林活動など	0	0.1
	地域の環境活動支援	地域環境活動支援、環境団体支援など	0	0.7
	環境情報公開	環境関連のパンフレット・ホームページ作成など	0	0.1
合 計			281.4	597.7

(注)一部会社のデータを含みません。

■ 九電グループにおける環境負荷実績 (2002年度)

項目	単位	2002年度実績	
オフィス電力使用量	kWh	33,441,702	
工場等電力使用量	kWh	401,800,232	
オフィス水道水使用量	m ³	210,332	
工業用水使用量	m ³	491,755	
暖房用燃料使用量	kl	64	
車両等燃料使用量	kl	2,476	
古紙	排出量	トン	675
	リサイクル率	%	48
コピー用紙	使用量	枚	84,247,017
	再生紙使用率	%	60
トイレトペーパー	使用量	ロール	134,968
	再生紙使用率	%	86
産業廃棄物	排出量	トン	40,203
	リサイクル率	%	73

(注)一部会社のデータを含みません。

PRTR自主調査実績 (2002年度)

(単位:kg)

物質番号	物質名	主な用途	会社名	取扱量	環境への排出量				移動量
					大気	水域	土壌	埋立	
1	亜鉛の水溶性化合物	溶融亜鉛メッキ	西日本電気鉄工(株)	1,280	72				88,995
40	エチルベンゼン	塗装	九州計装エンジニアリング(株)	1,453	1,453				
43	エチレングリコール	冷媒	西日本環境エネルギー(株)	6,263	6,263				
63	キシレン	塗装	九州計装エンジニアリング(株)	5,413	5,413				
			(株)キューヘン	2,300	2,300				
227	トルエン	塗装	九州計装エンジニアリング(株)	5,698	5,698				
230	鉛及びその化合物	溶融亜鉛メッキ	西日本電気鉄工(株)	4,480				46	27
		はんだ付け	ニシム電子工業(株)	1,600					1,600

※ 取扱量が1t以上の物質を記載

PCB保管状況 (2002年度実績)

九電グループの保有するPCBは下表のとおりであり、専用の倉庫等で厳重に保管・管理しています。これらは、「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(2001年7月施行)に基づき、処理期限(2016年)までに無害化処理を行う予定です。

使用機器	保有量	管理状況	PCB保有会社
トランス	46台	厳重保管中:46台	(株)九電工,戸畑共同火力(株),大分共同火力(株),(株)電気ビル
コンデンサ	93台	使用中:3台, 厳重保管中:90台	西日本プラント工業(株), 九電産業(株), (株)九電工, (株)キューキ, 九州計装エンジニアリング(株), 光洋電器工業(株), (株)キューヘン, 九州高圧コンクリート工業(株), 西日本電気鉄工(株), 戸畑共同火力(株), 大分共同火力(株), ニシム電子工業(株), (株)電気ビル, 九州高原開発(株)
安定器	493台	全量厳重保管中	九電産業(株), (株)九電工, 戸畑共同火力(株), 大分共同火力(株), (株)電気ビル
その他	1台,369ℓ,27kg	使用中:1台, 全量厳重保管中	九電産業(株), (株)九電工, 大分共同火力(株), (株)電気ビル

発電設備のSOx,NOx排出実績 (2002年度)

会社名・発電設備	設備容量 [MW]	使用燃料	実績値		自治体との協定		
			SOx (ppm)	NOx (ppm)	SOx (ppm)	NOx (ppm)	
戸畑共同火力(株)	2号機	156	主にLNG	排出量が10m ³ /h以下のため未測定	89	18	93
	3号機	250	主にLNG		73	11	80
	4号機	375	主にLNG		17	19	19
大分共同火力(株)	1号機	253	主に副生ガス	299	163	326	180
	2号機	253	主に副生ガス	301	172		180

※ 実績値は年間の最大値を記載 ※ 大気汚染防止法ではSOx排出量10m³/h以下は測定不要

フロン・ハロンの排出実績 (2002年度)

九電グループで保有及び消費しているフロン・ハロンの実績は下表のとおりであり、フロン・ハロン取扱い機器の修理,点検時には確実に回収を実施し,大気への排出を極力抑えています。

種類	主な用途	機器充填量(トン)	消費量(トン)	取扱会社
特定フロン	空調・冷凍	4.3	0	西日本環境エネルギー(株), (株)電気ビル
代替フロン	空調・冷凍・部品洗浄	41.1	4.3	(株)九建, (株)キューキ, 九州計装エンジニアリング(株), 光洋電器工業(株), 西日本電気鉄工(株), 戸畑共同火力(株), 大分共同火力(株), 大分エル・エヌ・ジー(株), 西日本環境エネルギー(株), 北九州エル・エヌ・ジー(株), ニシム電子工業(株), (株)電気ビル
ハロン	消火	5.1	0	(株)九電工, (株)キューキ, 戸畑共同火力(株), 大分共同火力(株), 大分エル・エヌ・ジー(株), 西日本環境エネルギー(株), 北九州エル・エヌ・ジー(株), (株)電気ビル

※ 特定フロン:CFC11 ※ 代替フロン:HCFC22, HCFC123, HCFC225 ※ ハロン:ハロン1211, ハロン1301